

## ◆平成31年1月4日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

- 明けましておめでとうございます。仕事始めの会でも話したが、職員においては仕事だけでなく家族やプライベートも大事にして日々を過ごしていただきたい。私自身、4歳となる孫がいるが、その子が働き盛りになる時期や高齢者になるころ、どのような世界、社会となっているか。AIやIoTが今よりも発達し、今では考えられないような時代になっているかもしれない。30年、50年先の未来のために、今私達が出来ること、市に残さなければいけないことを考えていかなければならない。
- 人への想いをまちづくりに活かし、後世の人たちに残していくことを考え、長期的な視野を持ち、事業を進めていかなければならない。経済学者のポール・ローマー氏は人工知能により人の技能が代替されることにより、技能の価値が喪失され、労働市場から落ちこぼれてしまう人が出てくると危惧している。それらを食い止め、また技能を学べる場を創出するメカニズムを構築しなければならず、人が生きていく中で、AIに慣れていかなければならないと述べている。それぞれの部署において、今何をしなければいいのか、今行っていることがこの先どう活かされるのか、活かすためにはどうすればよいのかを視野に入れ、業務に携わっていただきたい。

### 2. その他

#### 【議会事務局長】

- ◎「恵庭市ふるさと産業振興条例」制定記念フォーラムの開催について

恵庭市議会防衛議員連盟主催による「恵庭市ふるさと産業振興条例」の制定を記念したフォーラムを開催する。

【日 時】 平成31年1月16日（水）18:00～19:30

【会 場】 市民活動センター「えにあす」2階 会議室

【基調講演】 長崎県佐世保市議会議長 市岡博道氏（全国市議会議長会基地協議会前会長）

#### 【総務部長】

- ◎新年交礼会について

【開催日時】 1月8日（火）18時00分～

【開催場所】 恵庭市民会館 中ホール

## ◆平成31年1月7日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

- 正月が明けてから、降雪が続いている。今後も続くとの予報のため、建設部を中心に除雪等の対応をお願いしたい。
- 予算の編成時期となり、政策予算を始めとする予算全体について、新年度に実施を計画している事業について各部と議論し検討することとしたい。

### 2. 議事

- (1) 改元に伴う対応について【総務部】

### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 天皇の退位等に関する皇室典範特例法により、天皇陛下が4月30日をもって退位され、翌5月1日付けで皇太子殿下が即位される。新元号の発表について、首相の年頭の記者会見にて、国民生活への影響を最小限に抑えるため、4月1日の閣議において決定し、即時に公表すると正式に述べた。
- 各所管における対応状況について調査を行い、庁内で共有するとともに文書等の統一的な取扱いを改めて示すこととする。

## (2) 課長職・主査職昇任選考の実施について【総務部】

### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 12月28日に第1回昇任審査委員会を開催し、昇任者数や審査の方法等について確認を行った。来年度の昇任対象者等は下記のとおりである。  
＜対象者数及び昇任者数（消防職を除く）＞  
【課長職】対象者数：64名 昇任数：5名程度  
【主査職】対象者数：64名 昇任数：5名程度

## (3) 平成30年度「認知症サポーター養成講座」について【保健福祉部】

### ◎資料に基づき、保健福祉部長説明

- 認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す取組みの一環として、今年度も「認知症サポーター養成講座」を実施する。  
【開催日時】1月25日（金）10時00分～11時30分  
【開催場所】恵庭市民会館 2階 大会議室

## (4) 恵庭市民スキー場オープニングイベントについて【保健福祉部】

### ◎資料に基づき、保健福祉部長説明

- 恵庭市民スキー場のリフト設備やゲレンデがリニューアルされたことを記念して「スキーの日」である1月12日にオープニングイベントを実施する。
- スキーやスノーモービルのデモ模範滑走のほか、餅まき、豚汁、ラーメンの無料提供などスキーをしない方でも楽しめる内容となっている。  
【開催日時】1月12日（土）12時00分  
【開催場所】恵庭市民スキー場

## 3. その他

### 【選挙管理事務局長】

- 平成31年統一地方選挙に係る投票事務従事者のお願いについて  
地方公共団体の議会の議員及び長の任期満了による選挙等の臨時特例に関する法律が平成30年12月14日に公布、施行され、統一地方選挙の期日が決まった。
  - ・北海道知事及び北海道議会議員選挙 4月 7日（日）
  - ・恵庭市議会議員選挙 4月21日（日）

## ◆平成31年1月21日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

○平成31年度の予算査定が終了した。全体的にみると政策的な要求はほぼ応えられたのではないかなと思う。しかし経常収支については厳しい状況であり、財政調整基金を取り崩すこととなる。経常支出は年々増えており、また2020年度から本格稼動する焼却施設のランニングコストにより更に経常支出が増える見込みであることから、今一度支出を見直していただきたい。また行政改革の観点から事務事業を見直すとともに新たな基軸を打ち出していきたい。

### 2. 議事

#### (1) 平成30年の年次有給休暇及び夏季休暇等の取得状況について【総務部】

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 平成30年の年次有給休暇及び夏季休暇等の取得状況の結果をとりまとめた。
- ・年次有給休暇 H30：9.74日 H29：9.05日（前年比 0.69日増）
  - ・夏季休暇 H30：2.87日 H29：2.81日（前年比 0.06日増）

#### (2) 特定事業主行動計画に係る数値目標達成状況について【総務部】

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 当市の「恵庭市特定事業主行動計画」において数値目標を掲げており、平成30年12月末時点の達成状況は下記のとおりである。
- ・男性職員の育児休業取得率 28.6%（対象者：14名 取得者：4名）
  - ・女性職員の育児休業取得率 100%（対象者：2名 取得者：2名）
  - ・男性職員の子ども出生時における休暇取得率 42.9%（対象者：14名 取得者：6名）
  - ・女性管理職の登用率 管理職 9.1%（99名のうち9名）  
主査職 20.9%（153名のうち32名）
  - ・年次有給休暇取得日数：9.74日

#### (3) 平成30年度災害対策本部訓練の実施について【総務部】

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 10月に開催予定であったが、台風及び地震により実施が延期となっていた災害対策本部訓練を実施する。今回の訓練の目的は本部職員等の暴風雪災害の対処能力の向上、本部意思決定・対処能力の向上、防災関係機関との連携、ロールプレイング方式の理解・習熟である。
- 検証項目は、地域防災計画や各対策部のマニュアルなどに基づく役割分担・活動内容の確認、災害時における被害状況予測と優先活動の選択とする。

【訓練実施日時】2月 6日（水）9時00分～12時15分

（市長） 昨年の災害対応について各対策班で改めて検証、確認し取り組んでいただきたい。

（副市長） 当日の訓練では、停電や救出作業、避難所開設などが想定されるため、各対策班においては対応できるよう準備願いたい。

#### (4) 冬のイベントについて【経済部】

##### ◎資料に基づき、経済部長説明

○えこりん村で「えにわ犬ぞり大会」が実施される。札幌近郊では最大の大会となり、大会当日は市内の飲食や雑貨が集まる「えにわマルシェ」も同時開催される。

【開催日時】2月2日（土）、3日（日）10時00分～15時00分

○えにわシーニックナイトが6日間に亘り実施される。

【開催日時】2月2日（土）～10日（日）

### 3. その他

#### 【保健福祉部長】

◎市内のインフルエンザの状況について

先週から市内においてもインフルエンザが流行っている。また、学校の長期休暇が終わったことからこれから更に流行るかもしれない。うがい、手洗いを徹底するようお願いしたい。

### ◆平成31年1月31日開催庁議◆

#### 1. 市長挨拶

○平成31年度の予算案がまとまった。予算編成に当たり、各部の協力に感謝申し上げる。

○来年度の予算は積極的に様々な事業に取り組む形になっている。予算の概要として報告するが、各部長におかれては自分の部署の分野以外でも「恵庭市」の予算として市民に説明できるよう熟読いただきたい。なお、第1回定例会での議会議論となるが、その準備についてもよろしくようお願いしたい。

#### 2. 議事

##### (1) 平成31年度予算（案）の概要について【総務部】

##### ◎市長からの説明

○来年度は新たな元号となり、新しい時代を迎える。予算の策定に当たり、昨年の台風や地震などの災害があった中で、市民の不安を取り除き、市民一人ひとりの安心、安全を確保することを念頭においた。

○人口減少が全国的に進む中、恵庭市は年々人口が増えており、これまでの子どもや高齢者が「健康」に暮らせるまちを目指したまちづくりが活きていると考えている。

○来年度予算では、施設整備や事業の拡充を図っているが、財政事情は厳しさが増す。特に焼却処理場が完成することにより、ランニングコストが増加し経常収支の厳しさが増す。第6次行政改革推進計画のもと、徹底した行政評価と事業の見直しを行う。

○タイトルを「新しい時代に夢と希望がふくらむ2019年度予算」と銘打った。

- ・1つ目の特徴として『災害に強くしなやかで安心して住み続けられるまちづくり』とし、4年に一度の「総合防災訓練」を実施するほか、災害対策として、「災害用備蓄品購入事業」や「防災行政無線更新事業」を実施する。また「公共空間防犯カメラ整備促進補助事業」など犯罪防止対策を推進する。

- ・2つ目の特徴として『子ども達の未来を地域ぐるみで育むまちづくり』とし、「特別支援児童保育補助」の拡大、「子どもの生活・学習支援事業」、「子育て世代包括支援センター設置運営事業」を

実施するほか、学校給食費の値上げ対応として「学校給食助成事業」、小学校の英語授業の開始に伴う「英語指導助手招致事業」を拡大する。

- ・ 3つ目の特徴として『誰もが住み慣れたまちで健幸に暮らせるまちづくり』とし、「恵庭市地域密着型サービス等整備助成事業」を新たに実施するほか、「福社会館整備事業貸付金」事業として福社会館を増築する予定。
- ・ 4つ目の特徴として『豊かな自然の恵みと都市の快適さを実感できるまちづくり』とし、「島松駅周辺再整備事業」として島松駅のバリアフリー化を実施するほか、「市営住宅柏陽・恵央団地建替事業」を実施し、公共施設の集約を行う予定。
- ・ 5つ目の特徴として『恵庭の強みと魅力を生かした活力あるまちづくり』とし、「起業家支援事業」を拡大するほか、「市民活動センター業務委託」事業を新たに実施する。

### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 一般会計歳入歳出の総額は、273億7,400万円で、前年度当初予算と比較して2.8%、7億3,300万円の増。
- 特別会計は、国民健康保険特別会計以下8会計合計で、134億4,154万円、前年度対比で△1.2%、1億5,965万円の減。
- 公営企業会計は、水道事業会計が21億9,177万円、下水道事業会計が51億6,516万円となり、全会計合計で481億7,247万円、前年度対比1.6%、7億7,147万円の増。

### 【一般会計歳入予算案の概要】

- ・「市税」は、前年度対比2億1,646万円増の81億2,705万円を計上。  
税目別では、個人市民税や法人市民税で増収を見込む。純固定資産税と都市計画税では新增築の増加により増収を見込む。
- ・「地方交付税」について普通交付税は、地方財政計画及び特殊事情を勘案し、プラス6.9%の47億4,000万円とした。特別交付税は、前年同額の4億4,700万円とした。
- ・「国庫支出金」は、幼児教育の無償化による子どものための教育・保育給付費の増額、自立支援給付費の増加などにより増額となる。
- ・「道支出金」は、幼児教育の無償化による子どものための教育・保育給付費が増額、介護サービス提供基盤等整備事業費及び参議院議員選挙費委託金の増額などにより増額となる。

### 【一般会計歳出予算案の概要】

- ・「総務費」は、基幹システムのクラウド化に合わせて各部予算を一括計上したことから1億463万円の増加。
- ・「民生費」は、幼児教育無償化による子どものための教育・保育給付事業費や、自立支援給付費の増加、子ども医療費の助成対象年齢の拡大、児童扶養手当の支給回数の変更により、6億4,599万円の大幅増。
- ・「衛生費」は、市民スキー場整備事業費や焼却施設整備事業費の減により2億3,573万円の減。
- ・「農林水産業費」は、国営かんがい排水事業費等の増加により1億3,603万円の増。

### 【特別会計予算案の概要】

- ・「国民健康保険特別会計」は、平成30年度より北海道による広域化となったが、被保険者数の減少等から2億3,404万円の減。
- ・「後期高齢者医療特別会計」は、北海道後期高齢者医療広域連合の見込み額を基に、保険料収入及び広域連合納付金を算定し、予算額全体で1,372万円の増。
- ・「介護保険特別会計」は、高齢化の進展に伴い、必要となるサービス給付の増加が見込まれることから、予算額全体として2億1,494万円の増。
- ・「産業廃棄物処理事業特別会計」は、平成31年度まで焼却施設整備を継続するも、予算額は6,352万円の減。
- ・「墓園事業特別会計」は、第4墓園整備事業費の減少から1億1,002万円の大幅減。
- ・「駐車場事業特別会計」は、平成30年度とほぼ同額の予算規模である。

### 【公営企業会計予算案の概要】

- ・「水道事業経営戦略」の見直し、災害時に対応できる「緊急貯水槽整備事業」の実施、耐震化及び老朽化対策としての布設替や新設などの「管路整備」の実施。

### 【下水道事業会計予算案の概要】

- ・「ストックマネジメント点検調査計画」を策定し、2020年度からストックマネジメント計画に移行する。
- ・災害に強いライフラインをめざし、重要度の高い管渠及び処理場施設について計画的に耐震診断を進めると共に、長寿命化計画に基づく管の更生及び処理場の設備更新を行う。
- ・雨水管整備による浸水対策や污水管整備及び個別排水処理施設整備による生活排水処理の普及を図ると共に、「合流地区分流化事業」として、平成31年度末の分流化進捗率50%を目標に事業の進捗を図る。
- ・「排熱利用施設整備」として、ごみ焼却施設と連携した下水道資源の有効利用の取り組みとして、平成30年度から汚泥乾燥施設の整備の推進を図る。

### 【中期財政収支見通しの概要】

- ・経常収支では、予算案は、収支見通しより8,000万円減少  
要因としては、市税収入が8,700万円ほど増加したものの、地方交付税及び臨時財政対策債で8,900万円の減、譲与税・交付金で7,100万円ほど減少したためである。  
最終的な収支としては、収支見通しで1億5,800万円の財源不足が見込まれていたが、予算案としては、財政調整基金を1億3,700万円取崩し予算を編成した。